福島市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	217,640,224	68,486,024	286,126,248	67%	森林経営管理制度をはじめとする森林整備や木材利用の推進に取組むために利用。
譲与額（円）	341,682,000	84,681,000	426,363,000		

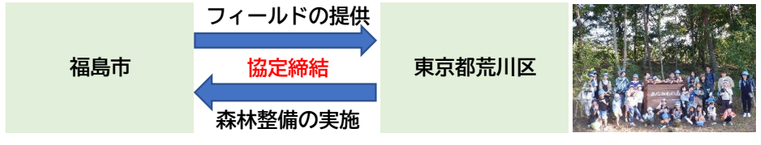
■令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業総額（円）	うち森林環境譲与税	事業名・事業内容
森林整備	その他（森林整備）	10,115,000	10,115,000	福島市森林ビジョン策定事業 本市の森林が未来にあるべき姿や将来の方向性を示す中長期的な計画として福島市森林ビジョンを策定する。
森林整備	私有林整備	36,062,102	36,062,102	令和7年度　森林環境整備事業　吾妻地区森林整備業務委託 森林経営管理制度に基づく経営管理に適さない民有林の森林整備（間伐）を民間業者に委託。
普及啓発	その他（木材・普及啓発関係）	1,738,087	1,738,087	令和7年度　森林環境整備事業　森林・林業学習会 福島市内の小学生を対象に「人の生活や環境と森林の関係について」理解と関心を深めてもらうため、見学学習や林業体験学習等を実施。学習後に、参加児童に対してアンケート調査を実施。
普及啓発	その他（木材・普及啓発関係）	962,535	962,535	令和7年度　東京都荒川区交流事業 森林や林業に対する理解を深めてもらうため、友好都市である東京都荒川区の小学生と福島市内の小学生を対象に、市内の森林において、森林整備活動や森林レクリエーション活動を予定。活動後に、参加者に対してアンケート調査を実施。
人材育成	その他（人材育成等）	6,300	6,300	普及啓発関係、会議・研修会参加に係る旅費 普及啓発関係、花粉の少ない森林づくり事業、森林経営管理制度やその他森林整備の推進に資する研修へ参加するための出張費用。
木材利用	木造公共建築物の整備等	661,284,000	17,831,000	旧広瀬座整備事業 国指定重要文化財である「旧広瀬座」の木材を活用した再整備（保存修理等）に関する費用。
木材利用	木造公共建築物の整備等	1,771,000	1,771,000	水林自然林整備事業 水林自然林内への木橋及びベンチの設置。
基金積立		84,681,000	84,681,000	福島市森林環境譲与税積立基金
合計		711,939,024	68,486,024	

■実施事業

①令和４年５月に「荒川区と福島市との森林整備の実施に関する協定書」を締結。市有林の一部を「あらかわの森」と名付け、森林整備を実施。

・対象区域0.3haのうち令和4年度から（予定額：約1,000千円／年）の森林整備を実施している。



②木材利用の促進

木造建築の良さと環境性能を普及啓発し、市内の公共建築物等において木材利用を促進する。（R元年度、木材利用なし）

	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度	R７年度
対象施設	駅西口大庇	「道の駅ふくしま」に隣接する屋内こども遊び場	清水支所	清水支所	旧広瀬座	旧広瀬座 水林自然林
活用額（円）	4,704,000	31,500,000	19,303,000	40,356,000	7,843,000	19,602,000